

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
8 月 松本城 ① 新井 典仁

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

テニス・卓球などの言葉 … サーブ
= 奉仕

① ラブオールで試合が開始されます。

卓球は 10 進法でかぞえます。11 点を先取した方が勝ちです。

テニスの数え方は独特です。時計説が有力です。60 進法で、15・30・40・ゲーム。40 は本来 45 ですが呼びにくいので 40 になったようです。サーブ権を持った方からコールします。

② ジュース

テニスの場合 40 オールとなった場合、卓球は 10 オールとなった場合ジュースとなります。

実力が拮抗していると 1 ポイントで勝敗が決するのは多分に運が作用する恐れがあります。そのため連続して 2 ポイント取った方が勝ちとなります。例えば卓球なら 10-12 というように、1・2・3 のことをフランス語でアン・ドゥ・トワと言いますがこの 2 (ドゥ) という意味が変化したものと言われているそうです。

③ プレイの最初に打つショットをサーブと言います。

テニス・卓球に限らずバレーもサーブといいます。テニスに限って言うと厳密には海外がサーブで、日本がサービスといいます。サービスは複数形のこと、ファースト・セカンドで複数だということです。テニス中継を見ると、確かに「ファーストサービス」じゃなく「ファーストサーブ」、「サービスエース」じゃなく単に「エース」と表示されています。

なぜサーブと言うか。歴史的には王様や貴族がプレイする時に召使がボールを拾って身分の高い自分の上司に対して「どうぞこのボールを打ってください」と心を込めてコートにボールを投げ入れたそうです。このボールを打ってゲームがはじまります。

ミニソフトバレーもまず自分のコートにサーブをうちますが、このイメージです。最初に相手方にボールを打つのではなく、まず自分の陣地へボールを打つ、そのボールを敵陣に打つ、このイメージのようにしてゲームが始まったそうです。

ボールを拾った従者は「奉仕の精神」で上司にサービスしたそうです。ここから最初に打つショットをサーブと言うようになったそうです。

④ こじつけるわけではありませんが、職業奉仕をロータリー活動の根幹ととらえる考え方と、職業奉仕を五大奉仕部門の一つとする考え方といろんな考えがあるそうですが、テニスのサーブという言葉と同様に長い時間をかけて、テニスの場合は何百年もかけて現在の形になったように、ロータリアンの思いの一致を長い時間をかけて探る必要があると思います。



<幹事報告>

◎国際ロータリー日本事務局より

・会員増強・新クラブ結成推進月間
リソースのご案内

◎ (公財) ロータリー米山記念奨学会より

・財団設立 50 周年記念式典のご案内

日時 2018 年 2 月 4 日(日) フォーム 10:30~ 祝賀会 12:30

会場 グランドニッコー東京 台場 東京都港区大場

登録料 10,000 円



<受贈誌>

台北東海 R C (活動計画書、会員名簿、創立 22 周年記念誌)、
台北市松年福祉會 (玉蘭荘だより)、社団法人高山市文化協会 (広報高山の文化 No191)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	32 名	1 名	33 名	39 名	84.62%
本日	30 名	—	30 名	39 名	76.92%

<本日のプログラム> お祝い

◎会員誕生日

垣内 秀文 8. 27

◎夫人誕生日

古橋 直彦
直子さん 8. 16

◎結婚記念日

ナシ
◎出席表彰 (当日欠席)
井辺 一章 19 年
杉山 和宏 2 年

◎在籍周年記念表彰

ナシ

◎3ヶ月表彰

・伊藤 松寿 ・井辺 一章 ・折茂 謙一 ・杉山 和宏
・田近 毅 ・田中 晶洋 ・田中 武 ・田中 正躬
・米澤 久二



例会報告

会員増強委員会

会員増強委員長 大村 貴之

本日は会員増強委員会担当例会です。新年度が始まり、会員増強すべく入会候補者の名簿作成や候補者への訪問など、会員勧誘に向けてさまざまな方法を考え、活動をさせていただいております。

現会員のみなさまも入会のきっかけや入会を決意された時の思いなど様々ではないかと思えます。

そこで本日は、会員の中から田邊さん・榎坂さん・萱垣さんの3名に入会に至った経緯やその時の思いなどお話ししたいと思います。ぜひ、皆様も自分が入会した時のことを思い返しながらかき聞きいただき、新たな会員を勧誘される時の参考にしてください。よろしくお願いいたします。



榎坂 純一

高山西RCに入会させていただき、早1年半が過ぎました。私が入会させていただいたきっかけは、弊社の忘年会にご臨席いただいております阪下六代先生のお誘いがあったからです。ちょうどそのころ、経営者として

の壁に悩んでおり、経営者としても人間としても成長しなければならぬと感じておりました。その時、阪下先生より高山の様々な業態の経営者と知り合い、輪を広げていくためにロータリークラブへ入会してはどうかとお誘いを頂き、その場で入会を即決させていただきました。

私のように現状に壁を感じている若手の経営者は、高山にもたくさんいらっしゃると思います。そういった方々にRCの活動を通して、経営者としても人間としても成長できるというビジョンをしっかりと伝えることができれば、若いメンバーも今後増加していくのではないかと考えております。

私は、RCの活動を通して、様々な方から今まで考えもつかなかったものの見方や価値観を教わり、人間的な成長を実感しております。阪下先生にRCにお誘いいただいたことはとても感謝しております。今後私も数多くの先輩方を見習って、ロータリアンとして恥ずかしくない行動をし、またこれから出てくる後輩の見本になれるように日々努力し続けたいと考えております。

萱垣 敬慈

皆様こんにちは。それでは今から私とRCとの出会いと入会に至った経緯についてお話しさせていただきます。

この8月で入会して1年が経ちます。実は3年ほど前から挾土さんにお誘いをいただいていた誘われた日の会話は3年経った今でも鮮明に覚えています。日にちまでは覚えておりませんが、間違いなく木曜日の出来事です。

挾土さんから唐突に「萱垣君、金曜日は暇か？」と聞かれました。暇か？と聞かれますと、暇ですとも答えずらく返答に窮しておりますと、「一緒に昼飯でもどうや？」とおっしゃられたので、あー明日のランチのお誘いか、そういうことならと思ひ。「はい、是非よろしく願いいたします。どこにしましょう？」と答えました。すると、今度は挾土さんが少し困惑された表情になりまして、「毎週やぞ」こうおっしゃるのです。毎週



挾土さんとランチ？私の頭の中がいよいよマキマキを起し始めまして「毎週ですか？一体どういうことですか？」と尋ねます。「ロータリークラブどうや？」とお誘いをいただきました。

昨年のスピーチでも話をさせていただきましたが、当時私にはロータリークラブの知識はほとんどありませんでした。大変申し訳ありません。不快に思われる方もいらっしゃると思いますので先にお詫びをさせていただきますがロータリークラブの存在は知っておりました。しかしフリーメーソンのような謎めいた秘密結社の衛星クラブのような存在だと思っていました。当然誰もが入れる所ではない事くらいは知っていましたので、私には一生縁がないものと思っていましたし、お誘いをいただいた時は驚いたのと同時に、いや私なんか・・・という思いが真っ先に浮かびましたので「いや、私のような者が行ったら挾土さんの顔に泥を塗ってしまいますから」と丁重にお断りしました。すると間髪いれずに挾土さんが「商売柄、泥を扱うのは慣れとるで大丈夫や！」こうおっしゃるわけです。矢継ぎ早に「あんまり気負いせんでも、皆で昼食を食べるだけや！そんなに堅苦しい所じゃないし何より自分の勉強になる、それに楽しい所やから考えといてくれ」それからお会いする度に、高山西RCの広報誌や、出前講座の資料などロータリーの活動について様々な資料を紹介していただきました。

ちょうどその頃、今オーストラリアに行かせていただいている娘が当時中学生で、外国に行きたい外国に行きたいとずっとそんなことを言うておりました。現在はグローバルな社会になっていますので悪いことではないと思っていましたが、親としては不安な部分があります。高山市の海外派遣事業で姉妹都市でもありますデンバーに短期間ではありますが行かせていただき、現実を知ってあきらめるかと思いきやますます火が付きまして現在に至ります。ちなみにデンバー滞在中も挾土さんの娘さんに現地で大変お世話になっています。それからも留学したい、留学したいと言い続けておりましたので、最初は海外留学のボランティア団体を色々あたって情報を収集していました。ある時、ちらっとその事を挾土さんに相談したところロータリークラブで留学できるぞという事を教えていただきました。

そんなご縁がありまして入会を決意し「わかりました、どうかよろしく願います。」と答えたのが昨年の6月下旬の事です。実はこの頃から日記をつけ始めたのですが、読み返してみますとこう書かれています。

- 7月 5日 (火) 挾土さんからロータリーに入会するために一筆書けとの事で氏名、所属、住所を書き提出。
- 7月12日 (火) 挾土さんにロータリークラブについて色々教えてもらいたく、質問するも、「そう焦るな、ロータリークラブは簡単にいれるところでは無い、審査があつて既存会員の賛成がないと入会出来ない、まだ入会が決まってない内にあれこれ聞いて、入会出来なかつたらショックやろうから、まだ待て」と。えーっ！あれだけ誘ってくれて入れるか入れないか分からないなんて・・・
- 7月26日 (火) 井上さんが来社され、ロータリークラブで卓話をして欲しいという依頼を受ける。
- 8月12日 (金) 高山西ロータリークラブで卓話をするために大垣共立銀行へ。早めに到着し会長の井辺さんと幹事の堺さんに挨拶をし、堺さんから入会金と会費、合計約17万円の請求書を渡され桁が一桁間違っているんじゃないかと何度も桁数を数える。卓話でロータリークラブとロータリーエンジンの下りが見事に滑り落ち込む。帰り道、一緒に歩いて帰った下屋さんに、「あれは滑ったなあー」とダメ出しを受ける。下屋さん自覚しています分かつ

例会報告

ているんです、どうか、どうかとどめを刺さない
ください……

私にとってこの一年はとても楽しい一年でした。色々なタイミングでご縁の皆様の中に入れていただき、僥倖としか言い表わせません。こんな私に何度も何度も声をかけてくださった挾土さんに感謝いたします。

最後になりますが、入会までの経緯を記憶をかいつまんで話をしましたが、入会を最終的に決定づけたのは、挾土さんからいただいた、手書きの手紙です。いかにも職人らしい、内容はシンプルではありますがとても重みのある手紙で今でも神棚に大切に保管しています。

田邊 淳

1、入会に誘って頂いた方

高山ロータリー、中央ロータリーのメンバーからお声がけを頂いておりました。

西ロータリーでは

米澤会長 … 私が添乗員として

ご一緒した京都旅行の際、お声がけ頂きました。

遠藤さん … 同級生でもあり、強く勧められました。

古橋さん … もう少し考えさせて欲しいと、お断りにお伺いしました。

2、入会を決めるまでの期間 : よく記憶していませんが、1年以上引っ張ったのでは無いでしょうか。ちょうど台北東海RCへの訪問もあり、業務としてもお手伝いさせていただく事もあり、決断した次第です。

3、入会を検討するにあたり相談した方 : 祖父、父親とも元西ロータリーメンバーであったこともあり、父親に相談しました。またJTB 同僚には他地区ですがロータリーメンバーもいましたので、状況をお伺いしました。

4、入会を検討するにあたり必要と思われる資料 :

会員名簿 … どんな方がいらっしゃるのか、

年間行事予定 … 年間通じ、どのような活動をされているのか、入会してからかも知れませんが、ロータリー用語集

5、入会の決め手は : 入会前に「新年家族例会」に参加させて頂き、思ったほど堅苦しくないと感じたことも理由です。また50歳になってから高山へ帰郷した為、公私とも高山での交友関係が少なく、その対策としての考えもありました。決め手では無いですが、ネックと思ったのは「毎週の例会出席」と「決して安くない会費」でしょうか

6、ロータリークラブのイメージ : 経営者、旦那衆の集まり。社会奉仕組織といったイメージ。小学生時代(たぶん)、ロータリアンであった祖父につれられ、珠洲RCとの交流会?に同行した記憶があります。また祖父、父ともRCメンバーであった為、日常にRCの話は出ていましたので、クラブ自体に抵抗はありませんでした。しかし一般の方からみれば、何にそれといったイメージでしょうか。昨年、黒木さんもスピーチでおっしゃっていましたが、一般市民に対するイメージ戦略、ロータリーのブランディングが必要ではないかと考えます。

7、ロータリアンとしての目標 : ロータリアンとしては無いですが、企業経営者として「お客様、株主、社員に支持される企業となるべく、常に改革を意識した経営を行いたい」50も過ぎて恥ずかしいですが、まだ未熟な自分を、人生経験も多く、数々の修羅場?場数を踏んできた諸先輩と本クラブで一緒に、自分の人間性向上に寄与できるようにしたい。



<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

今日は会員増強委員会担当例会です。萱垣さん、榎坂さん、田邊さん、ロータリーへたくさんの方を迎えられるよう、楽しい話をお願いします。

●大村 貴之さん、阪下 六代さん

今日は、会員増強委員会担当例会です。会員スピーチを田邊さん、榎坂さん、萱垣さんをお願いしています。よろしくお願います。

●榎坂 純一さん

9月16日17日18日に、宮川朝市道路で「ごご市」をひらきます。朝市が出る道路を全て使ったイベントです。現在お店を出して下さる方を募集しています。ご興味がある方はぜひ榎坂までご連絡下さい。よろしくお願いします。

●田近 毅さん、田中 武さん、田中 晶洋さん、山下 直哉さん、住田 泰典さん、田邊 淳さん、松川 英明さん、萱垣 敬慈さん
ノエミから家族の写真が届きました。ご両親と兄弟3人の併せて5人の仲睦まじい姿です。その上、家族全員が美男美女で驚きです。日本で通う斐太高校のクラスは1年F組に決まった様です。8月17日の来日をわくわくして迎えましょう!

●岡田 贊三さん、挾土 貞吉さん、斎藤 章さん、田中 武さん、堺 和信さん、黒木 正人さん、榎坂 純一さん

いよいよ8月6日「第68回高山西ロータリークラブ杯争奪高山市ソフトミニバレーボール大会」がビックアリーナで開催です。社会奉仕・ヘルス委員会の井上委員長の活躍にも注目です。みなさん、わくわく応援しましょう!

第68回高山西ロータリークラブ杯争奪 高山市ソフトミニバレーボール大会

8月6日(日)、恒例のソフトミニバレーボール大会が開催され、会長幹事が開会式で選手の皆さんを激励すると共に、今回もクラブより精鋭1チームが出場し、選手の皆さんと共に汗を流しました。

